

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 15農林水産課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	8776	事務事業コード	1578
事務事業名	地域資源活用調査・実証事業				開始年度	平成25	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (3)産業間連携と雇用の確保						H25: 重点●政策○	●
H26施政方針	1. 人口減少対策 (3)農林水産業の振興						H26: 重点●政策○	○
H27施政方針	1. 人口減少対策 (3)特色ある地域づくり ② 地域資源を活用した活性化						H27: 重点●政策○	○
事業概要	■ハウス用ボイラー(籾殻、竹材等木質バイオマス)の導入支援 ■竹林保全のための竹の子の流通と加工販売支援事業 ■切捨て間伐材、林地残材、製材屑及び広葉樹を活用したチップ製造事業と木質チップ利活用施設の選定と整備の推進(バイオマス産業都市構想及びCOIとの連携) ■籾殻堆肥の散布・効果・コスト検証実証事業(2年目) ■籾殻燃料焼却灰のペレット化実証事業							
対象	豊かな環境、農林水産業、エネルギー、企業							
意図(対象をどのようにしたいか)	伐採した広葉樹・竹などの森林資源や、もみ殻などをバイオマスエネルギーやマテリアル利用を図ることで、地域資源の有効活用のみならず、新たな雇用を生み出し、森林整備が進み、エネルギーの地産地消が行われる。エネルギーコスト削減等によって環境と経済が循環する仕組みが生まれる。							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	籾殻堆肥価格	円/10a	-	28715	23145	20000	10000	4000
	木質バイオマスボイラーの新規導入	箇所	-	-	-	1	2	5

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業	
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	モミガライト普及促進事業			3,077	2,558		500	予算	不要	
	指標	利用件数	件	271	103	186	-	事業	終了	
2	竹林整備事業			105	905		0	予算	不要	
	指標	森林(竹林)整備面積	ha	62.6	100.1	102.6	120	事業	終了	
3	バイオマス産業都市構想策定事業			2,052	4,412		0	予算	不要	
	指標	策定数	件	-	1	1	-	事業	終了	
4	籾殻堆肥散布実証事業			0	2,535		2,500	予算	維持	○
	指標	散布面積	ha	-	-	10	5	事業	拡充	
5	木質バイオマス利活用推進事業			0	0		10,135	予算	維持	◎
	指標	木質バイオマスボイラー導入箇所	箇所	-	-	-	1	事業	拡充	
事業費の合計(千円)				5,234	10,410		13,135			
財源内訳	国庫支出金			0	4,752		1,080			
	県支出金			0	0		0			
	地方債			0	0		0			
	その他			0	0		0			
	一般財源			5,234	5,658		12,055			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	モミガライト普及促進事業	B	C	B	製造価格の低減と焼却灰の農地利用までの循環型モデルの構築が必要であることから、その散布方法と効果について検証する。
2	竹林整備事業	B	B	A	竹林整備面積の有効利用として棚田散策ツアーにおいてタケノコ園として活用すると共に、産業振興課と連携し、タケノコの加工品の開発と販売体制を構築する。
3	バイオマス産業都市構想策定事業	B	A	A	平成25年度実施の基礎調査を基にこれまで活用されなかった広葉樹や竹などの森林資源の活用を具体的に示す事業化プロジェクト(事業設計)を策定した。今後はこの計画を基に、木質バイオマス加工施設と需要施設の整備を推進する。

4	籾殻堆肥散布実証事業	B	B	A	籾殻の製造量の増加と散布方法の検証を推進することで、平成31年度を目処に低コストを達成する。このことにより佐渡市内から排出される籾殻を地域資源として有効活用が図られる。
5	木質バイオマス利活用推進事業				これまで活用が図られなかった広葉樹や竹の森林資源については、搬出から加工までの低コスト化が必要であり、需要施設においても省力化が求められることから、国などの支援を受けながら推進していく。

Action ◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	拡充	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	籾殻を地域資源として有効活用を進めるため製造コスト、散布コスト及び、散布効果の検証を進める。将来的には散布面積の拡大とエネルギー活用も検討することで、籾殻の有効活用量の拡大を図る。また、林業振興と森林整備を進めるため、熱エネルギー需要施設において、エネルギーコストの削減が図られる木質バイオマスボイラーの整備と、木質エネルギー製造事業の構築を目指す。			